

文翔館

BUNSHOKAN vol.59

Information & Contents

文翔館自主事業のお知らせ
文翔館コンサート事業／文翔館地域公演事業／文翔館創作公演事業／
文翔館展示事業／文翔館の日
レポート 時計塔内部見学会／文翔館見どころ案内拡大版／館長室から etc...



祝 文翔館入館者400万人達成!

▲左から佐藤さんご夫妻、成田さん、館長

5月28日に入館者400万人を達成しました!

記念すべき400万人目のお客様は文翔館に来るのは2回目という青森県からお越しの成田さんご親戚の佐藤さんご夫妻でした。お三方には、花束と記念品として文翔館オリジナルグッズセット、山形県産米セットをプレゼント。

「テレビなどで(〇〇人達成というニュースを)よく見るがまさか自分たちがとびつりです。」「光栄です。」とお喜びいただきました。

これまで日本全国、世界各地からたくさんの方にお越しいただきました。ご来館くださった皆様、文翔館を愛してくださる皆様に心より感謝申し上げます。これからもこの貴重な文化財を後世に継承し、より多くの方に魅力を知っていただけるよう努めて参ります!

これまでの歩み

1916年 6月15日	二代目山形県庁舎及び県会議事堂(現 文翔館)竣工
1975年	県庁移転
1984年12月	国の重要文化財に指定
1986年~1995年	復原工事
1995年10月 1日	山形県郷土館(愛称:文翔館)開館
1998年10月27日	入館者50万人達成
2001年12月12日	入館者100万人達成
2005年 4月14日	入館者150万人達成
2008年12月 9日	入館者200万人達成
2012年 8月24日	入館者250万人達成
2015年11月20日	入館者300万人達成
2016年 6月15日	創建100周年
2018年10月17日	入館者350万人達成

文翔館の日

DAY OF BUNSHOKAN

2023年10月14日(土)

大人気企画の時計塔内部見学会やハロウィンナイトの他、紅花ハーバリウム作り体験などイベント盛りだくさん♪朝から夜まで文翔館で楽しもう!

※時計塔内部見学会、ハロウィンナイトは事前応募制。詳細は随時文翔館HP等でお知らせします。



昨年度「文翔館の日」より

事業レポート

文翔館時計塔内部見学会 2023年6月10日(土)

「時の記念日」に合わせ、文翔館時計塔内部見学会を行いました! 時計塔の保守管理を担う榎谷時計店主・榎谷秀一さんの説明とともに通常非公開の文翔館時計塔内部を17名の方にご案内しました。

参加者の方からは、「時計塔の内部はかなり入り組んでいて、迷路のように感じました。歯車が噛み合うことにより、時が刻まれていて神秘的だと思いました。」「代々守り続けてきた方々に感謝します。」など感想をいただきました。

「時の記念日」とは?

1920年に生活改善同盟会が時間を大切にすることを目的に制定。日付は、「日本書紀」に天智天皇10年4月25日(グレゴリオ歴671年6月10日)に、漏刻(水時計)を設置し、鐘鼓を鳴らして時を知らせたと記述されていることから。



▲榎谷秀一さん(右)と、熱心に話を聞く参加者

▲時計塔頂上までの狭い屋根裏

文翔館見どころ案内 拡大版! アカンサスと文翔館

初夏から晩夏にかけて花を咲かせる「アカンサス」。特徴的な葉は、古代ギリシア以来、ヨーロッパを中心に建築物の装飾のモチーフとして使われています。また、そのことに由来し、「芸術」「技巧」といった花言葉を持ちます。英国近世復興様式を基調として建てられたこの山形県旧県庁舎及び県会議事堂にも、アカンサスのモチーフが至るところに使われています。ディテールの美しさまで、ぜひご注目ください。



正庁漆喰天井

4年の歳月をかけて完成された漆喰天井。職人の手でひとつひとつ復元。アカンサスの他、バラやダリアといった花、ピワ、洋梨などの果物がある。



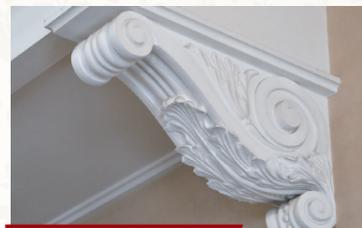
2階正面玄関大理石柱

2階には8本、3階には4本の大理石で覆われた柱がある。2階の柱頭には四隅にアカンサスの葉と、剣玉(エッグアンドダート^{※1})が施され、3階の柱にはイオニア式^{※2}にみられる渦巻きにアカンサスが配置されている。

※1 エッグアンドダート: 古代ギリシアの建築様式から使用されている卵と鎌が交互に配置された連続文様。鎌の部分は剣、鎌、矢、舌などもある。
※2 イオニア式: 古代ギリシアの建築様式(オーダー)のひとつ。柱頭の渦巻き飾りが特徴。



3階大理石柱



議場ホールバルコニー

旧県会議事堂 議場ホール内のバルコニーを支える漆喰。アカンサスが大胆に象られている。



知事室カーテンボックス

当時の写真をもとにアカンサスの刺繍を施し復元したカーテンボックスの前飾り。木枠は創建当時のもの。



中央階段手すり

旧県庁舎正面から入ってすぐの中央階段室。シンメトリーの構成、大理石の独立柱、スタンドグラスなど最も意匠を凝らした部分とされている。手すりの柵の部分にはアカンサスの葉がデザインされ、上部にもアカンサスの蕾と思われる装飾が施されている。

アカンサス Acanthus

学名のAcanthusとは「とげ」の意。原産地は地中海沿岸で、約50種あり、一般的で最も多く栽培されている種は「アカンサス・モーリス(アカンサス・モーリス) Acanthus mollis 和名: ハアザミ」。大型の常緑多年草で、深い切り込みの入った葉が特徴。草丈は1mを超え、日本では6月~8月頃花を咲かせる。ギリシアの国花。



旧県会議事堂前庭のアカンサス(モーリス種)

文翔館コンサート事業 会場: 議場ホール

浪曲

2023年11月11日(土) 14:00開演

チケット発売日: 9月3日(日)



今話題の相三味線コンビ真山隼人・沢村さくら(山形県出身)による浪曲入門編! 落語家の笑福亭笑助(元東北住みます落語家兼山形住みます芸人)も登場。

ダーヴィッシュ

2023年11月29日(水) 18:30開演

チケット発売日: 9月3日(日)



神秘的でソウルフルなアイリッシュ音楽を楽しみましょう! アイリッシュダンサーのデイヴィッド・ギーニーも登場。

仲道郁代

2024年3月22日(金) 18:30開演

チケット発売日: 1月13日(土)



人気・実力ともに日本を代表するピアニストの演奏をたっぷり堪能できる文翔館リサイタル! 極上のひとときをお届けします。

文翔館 地域公演事業

山響ハートフルコンサート in あつみ

会場: 鶴岡市温海ふれあいセンター 終了しました

2023年7月13日(木) 19:00開演

「大人のためのクラシック入門」と題し、曲の解説を交えた初心者にもわかりやすいコンサートです。

山響とみんなで創る音楽会

会場: 飯豊町町民総合センター「あ〜す」

※日時未定

山形交響楽団と地元の音楽愛好家のみなさんの共演で創り上げるコンサートです。

山響オペラ

会場: 村山市民会館

2024年2月17日(土) ※時間未定

山形交響楽団と山形オペラ協会によるオペラを上演します。



▲昨年度公演より

文翔館 創作公演事業

会場: 議場ホール



▲ダンススペース2010年ギリシア公演「みず」より

「存在の種」(仮)

2024年2月24日(土)・25日(日)

出演: ダンススペース

生きてきた身体そのものが芸術作品である(大野慶人/ 舞踏家) ダンススペースメンバーの他、一般のシニア層の皆さんから出演者を公募し、ともにオリジナルのコンテンポラリーダンス公演を創り上げます。
※公募については後日ダンススペースHPにて発表。

文翔館展示事業 会場: 2階ギャラリー

収蔵品展「新・収蔵品展」

2023年6月17日(土)~7月17日(月)

近年文翔館に寄贈された、山形や文翔館にまつわる資料を展示・紹介します。

企画展「やまがたのおんな~信仰・習俗編~」

2023年10月27日(金)~11月26日(日)

「やまがたのおんな」にまつわる信仰・習俗を紹介します。

収蔵品展「文翔館復原の記録~議事堂編~」

2024年2月24日(土)~3月24日(日)

10年間にわたる復原工事の様子を写真や資料で振り返るシリーズ。今回は旧県会議事堂に焦点を当ててご紹介します。



館長室から

文翔館は、平成7年10月に開館し、本年、5月28日(日)に400万人目の入館者を迎えることができました。文翔館に多くの方から来館いただいているのは、建物自体の魅力はもちろん、加えて、その魅力を分かりやすく伝えていただくガイドボランティアの存在も大きいと思っています。

ただ、新型コロナ感染拡大により、その活動を中止していた時期が2年を超えてしまいました。そのため、昨年7月から活動を再開しましたが、活動に参加されるガイドボランティアが大きく減少しています。再開当初は、新型コロナの感染状況をにらみながら、抑制気味に活動していただきましたが、現在は団体の案内予約も復活し、フルに活動していただいています。少ない実働人数の中で、多くの案内をお願いしており、ガイドボランティアの方に負担をかけてしまっております。

このため、第8期生の養成を計画しています。文翔館や初代県令三島通庸による県都づくりなどに関心のある方には、ガイドボランティア養成にぜひ申し込んでいただきたいと思っています。

また文翔館にいらっしゃったら、是非、ガイドボランティアに案内を依頼してください。ガイドの話を聞きながら文翔館を回ることで、その魅力を十分に堪能していただけたらと思います。

(館長 山口)



▲お客様をご案内するガイドボランティアの木村育さん

文翔館ガイドボランティア第8期生募集!

募集期間: 7月16日(日)~9月30日(土)

全7回の養成講座と実践研修でサポートします。詳しくは後日文翔館HPにてお知らせします。

文翔館ポストカード好評販売中!

ご好評いただいている文翔館ポストカードに、新たなデザインを追加しました! 夏の夜の旧県庁舎、旧県会議事堂、正庁、議場ホールの4種の他、青空の旧県庁舎のデザインをリニューアル! 旅の思い出にぜひいかがですか?

全7種/1枚100円・5枚セット450円



山形県ふるさと納税「山形応援寄附金」 山形県郷土館「文翔館」修繕事業寄附者ご芳名

河村 英雄 様(広島県) (令和5年7月2日時点)

ご寄付いただきました皆様により御礼申し上げます。
山形県の文化遺産を後世へ継承するため、文翔館修繕に活用させていただきます。
(問合せ: 山形県文化スポーツ振興課 023-630-2306)
山形県ふるさと納税についてはこちら▶



文翔館からのお知らせ

開館時間 9:00~16:30
8月4日~15日は18:30まで
開館時間を延長します。

文翔館
ホームページ▶▶▶



休館日 第1・3月曜日(祝日・休日の場合は翌日)、
年末年始(12月29日~1月3日)

貸館のご案内

文翔館では、議場ホール・中庭・会議室(2室)・ギャラリー(8室)をお貸ししています。発表会やコンサート、展示会などにご利用ください。

利用申込は6ヶ月前から受け付けており、毎月最初の開館日9:30より抽選会を行っています。

※満車の場合は近隣の有料駐車場をご利用ください。
(割引サービスはございません。)

TEL 023-635-5500

文翔館 SNS



Twitter
@y_bunshokan



Instagram
@bunshokan_official



Facebook
@bunshokan_official

編集後記

5月に発売した新デザインのポストカードですが既にたくさんの方にお買い求めいただき嬉しい限りです!ご紹介したフォトポストカードの他に、文翔館を含む山形のレトロ建築がイラストになったポストカードも販売中です!

(発行日: 2023年7月14日 編集担当: 松岡)

「文翔館 vol.59」電子版とバックナンバーは「ヤマガタイブックス」にアクセス!▶▶▶



■アクセス

山形駅よりベニちゃんバス中心市街地行き市役所南口下車徒歩5分

▶ 駐車場は文翔館の北側にございます。(無料・約40台)

※満車の場合は近隣の有料駐車場をご利用ください。
(割引サービスはございません。)

山形県郷土館



〒990-0047 山形県山形市旅籠町3丁目4番51号
指定管理者: 公益財団法人山形県生涯学習文化財団
TEL 023-635-5500 FAX 023-635-5501

URL <https://www.gakushubunka.jp/bunshokan/>

